

(別紙5)

補助事業番号 25-1-102
補助事業名 平成25年度 検診車の整備 補助事業
補助事業者名 公益財団法人静岡県予防医学協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ア. 社会的課題の現状

がんは日本人の死因の第1位であり、地域における住民健診及び事業所における定期健康診断では、胃がん検診の受診率を向上させ、早期発見と予防を推進していく必要がある。

イ. 目指す姿

県内に居住するより多くの県民の皆様に、がん検診を受診する機会を提供できる環境整備を行い、がん検診の受診率を向上させる。

ウ. 事業の目的

聴覚障がい者向けの検診システムを搭載した胃部X線デジタル検診車を整備することにより、より多くの県民にがん検診を安心して受診する機会を提供し、胃がんの早期発見と予防を図ること、生活習慣病予防への意識を高めるための普及・啓発活動を行うことを目的とする。

(2) 実施内容

胃部X線デジタル検診車の整備



胃がん検診車右前



胃がん検診車後部



聴覚障がい者向け検診システム



X線透視撮影台及び
検診システム

胃部X線検査は、受診者と検査技師との間でマイクとスピーカーによりコミュニケーションをとり、受診者には微妙な体位変換を要求することが一般的であり、聴覚障がい者や高齢者、外国人の方にとっては受診することが困難な検査であった。このような状況を改善するため、今回整備した胃部X線デジタル検診車は聴覚障がい者向けの検診システムを搭載し、ストレスのないスムーズな検診を可能とし、安心して胃がん検診を受診することができる。このことから、検診車による巡回検診の利点を活かし、より多くの県民の皆様に胃がん検診の受診機会を提供することができ、社会的課題への積極的な対応により、健康増進の向上に大きな役割を果たしていくことができる。

※ 聴覚障がい者向け検診システム

検診車内での動作について行動し易いように、わかりやすく絵や文字で表示するパネルや5カ国語対応（日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語）の表示パネル・音声発生装置等のシステム

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

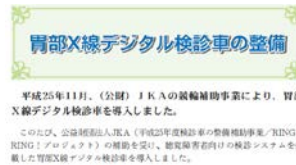
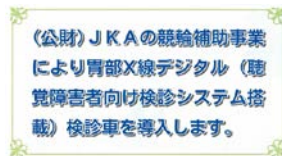
胃がん検診の受診者数は、住民健診事業の拡大とともに増加傾向にある。導入する検診車は、聴覚障がい者向けの検診システムを搭載しており、より多くの方に安心して胃がん検診を受けていただける環境が整備され、胃がん検診の受診率の向上と疾病の早期発見が期待できる。

3 印刷物等

本事業に係る印刷物等

[当協会広報紙『第115号けんこう静岡』\(平成25年10月1日発行\)へ掲載](#)

[当協会広報紙『第116号けんこう静岡』\(平成26年1月1日発行\)へ掲載](#)



県、市町、教育委員会、各学校、健康保険組合、健診事業所等に配布、その他ホームページにも掲載し、閲覧可能

平成25年、公益財団法人JK Aの補助により聴覚障害者向けの検診システムを導入した胃がん検診デジタル検診車を導入します。
導入する検診車は、聴覚障害者向けの検診システムを搭載しており、聴覚に障害のある方、聴力の弱い高齢者や外国人の方などにも、安心して胃がん検診を受けていただくことができます。また、X線システムは従来のフィルムベースから、撮影した画像を電子化して管理、保存するデジタル化へと移行しており、健診時間の短縮や画像上の比較認識が容易に行える等、効率的な運用が可能となります。これら、機器の特性や検診率による認知症の予防を踏まえ、より多くの高齢者に広く受診機会を提供することにより、健康増進の向上に努めていきたいと考えております。

聴覚障害者向け検診システム
検診車内での動作について行動し易いように、わかりやすく絵や文字で表示するパネルや5ヶ国語対応(日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語)の表示パネル・音声発生装置等のシステム



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人静岡県予防医学協会
(シズオカケンヨボウイガクキョウカイ)

住所： 〒421-1214

静岡県静岡市葵区建穂一丁目3-43

代表者： 代表理事 横田 通夫 (ヨコタ ミチオ)

担当部署： 総務部総務課 (ソウムブソウムカ)

担当者名： 係長 福田 晴義 (フクダ ハルヨシ)

電話番号： 054-636-6461

F A X : 054-636-6462

E - m a i l : shizuoka-yobo@shsa.net

U R L : <http://www.shsa.net>